

平成29年度
(平成29年7月～平成30年6月)

環境活動レポート



平成31年2月1日

マタケ造景株式会社

目次

- 1 組織の概要
- 2 対象範囲
- 3 環境方針
- 4 環境目標
- 5 環境活動計画
- 6 環境目標の実績
- 7 環境活動計画の取組結果とその評価、
次年度の取組内容
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直しの結果

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
マタケ造景株式会社
代表取締役社長 真武 弘延
- (2) 所在地
本 社 福岡県福岡市東区大字香椎472番3
TEL：092-661-6614
FAX：092-673-1382
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責 任 者 景観事業部 筒井 雄一 TEL：080-8589-3932
E-mail：tsutsui@matake.co.jp
担 当 者 営業部 松本 義慈 TEL：080-8393-6802
E-mail：matsumoto@matake.co.jp
- (4) 事業内容
建設業：造園工事業他
- (5) 事業の規模
売上げ額 平成29年度 337百万円
- | | |
|-------|-------------------|
| | 本 社 |
| 従業員 | 16名 |
| 延べ床面積 | 742m ² |
- (6) 事業年度 7月1日～翌6月30日
- (7) 法人設立年月日 平成2年 7月
- (8) 資本金 2,000万円

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： マタケ造景株式会社

活動： 建設業：造園工事業、石工事業、舗装工事業、塗装工事業
水道施設工事業、土木工事業、しゅんせつ工事業
とび・土工工事業、鋼構造物工事業

有資格者数： 1級造園施工管理技士・技能士 3名

2級造園施工管理技士 2名

1級土木施工管理技士 1名

2級土木施工管理技士 2名

環 境 方 針

マタケ造景株式会社は、環境整備（景観作り）の活動を通じて、地球環境との調和・共生目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって法令遵守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減する。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境へ取組を行う。
 - (1) 車両、重機、機械類のエコ運転に努めて燃料を削減して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (2) 事業所の電気の省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (3) 事業所及び、資材置き場には、数多くの植栽を行い二酸化炭素排出量の削減を行う。
 - (4) 井戸水の利用や節水により水使用量を削減する。
 - (5) 建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進して、産業廃棄物の最終処分量を削減する。
 - (6) 事務用品のグリーン購入を推進する。又建設資材の可能な限り再生品を使用する。
 - (7) 化学物質の使用削減に努める。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 環境に配慮した施工を心掛け、地球に優しい緑化型構築物を提案する。
4. 事業所、現場周辺において、清掃美化活動や草花のプランター設置など地域緑化環境活動を積極的に行い、地域の環境保全に貢献する。
5. 森林保全を目的としたエコアップ活動の企画運営を行い、地域との環境コミュニケーションを推進する。

制定 平成23年 5月30日

マタケ造景株式会社

代表取締役 真 武 弘 延

4. 環境目標

4. 1 事業所

環境目標		単 位	基準値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ (基準値比)	10802	10586 (-2.0%)	10471 (-3.0%)	10370 (-4.0%)	10262 (-5.0%)
2	一般廃棄物量の削減	t (基準値比)	1.274	1.249 (-2.0%)	1.236 (-3.0%)	1.223 (-4.0%)	1.210 (-5.0%)
3	総排水量の削減（節水）	m ³ (基準値比)	55.86	54.74 (-2.0%)	54.18 (-3.0%)	53.63 (-4.0%)	53.07 (-5.0%)
4	グリーン購入	%	50	50	50	50	50

<備考>

- ・二酸化炭素排出量は、平成26年度九州電力の実排出係数0.584kg-CO₂/kWhで計算している。

4. 2 工事現場

環境目標		単 位	基準値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	二酸化炭素排出量の削減	CO ₂ 発生量/ 受注額 (百万円)	235.79	233.43	231.07	228.72	226.36
2	産業廃棄物のリサイクル率 84%の維持・向上	%	95	95	95	95	95
3	農薬の適正管理	—	工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに適正に管理する				
4	節水	—	工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに取り組みは実施する				

<備考>

- ・二酸化炭素排出量は、平成26年度九州電力の実排出係数0.584kg-CO₂/kWhで計算している。

6. 環境目標の実績

6. 1 事業所

No.	環境目標	単 位	基準値	平成29年度 目標値	平成29年度 実績値	目標値比	達成状況
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2 (基準値比)	11,022	10,586	12,969	123%	×
2	一般廃棄物量の削減	t	1.3	1.249	0.263	21%	○
3	総排水量の削減(節水) (大家さん方から引っ張ってきて数量は把握できないが、取り組みは実施する)	m ³	57	54.74	0.00	—	○
4	グリーン購入	グリーン購入金額 /購入金額 (%)	50.0	50.0	52.9	106%	○

※二酸化炭素排出量は、平成24年度九州電力の実排出係数0.612kg-CO2/kWhで計算している。

6. 2 工事現場

No.	環境目標	単 位	基準値	平成29年度 目標値	平成29年度 実績値	目標値比	達成状況
1	二酸化炭素排出量の削減	CO2発生量(kg)/ 受注額(百万円)	236	233	157	67%	○
		CO2発生量(kg)	—	—	47,136		
		受注額(百万円)	—	—	300		
2	産業廃棄物のリサイクル率95%の維持・ 向上	%	95	95	100	105%	○
3	農薬の適正管理(工事現場によって、使用 量が大きく変動するため、数値目標は 立てずに適正に管理する)		—	—	—	—	○
4	節水(工事現場によって、使用量が大き く変動するため、数値目標は立てずに取 り組みは実施する)		—	—	—	—	○

※二酸化炭素排出量は、平成24年度九州電力の実排出係数0.612kg-CO2/kWhで計算している。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
電気使用量の削減	×	<ul style="list-style-type: none"> ・節電シール ・エアコンの設定温度を決定 ・エアコンフィルターの清掃 ・昼休みの消灯運動 ・退出時のOA機器の主電源OFF 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ 	<p>前期に比べると電気使用量は削減しているが、目標達成できていない。</p> <p>事務所移転予定なので、今後の推移を見守ることとする。</p>
燃料使用量削減	○	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの推進 ・タイヤの空気圧を適正値に保つようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<p>工事部門・事務所部門ともに目標達成。</p> <p>引き続き燃料使用量抑制に努めていく。</p>

(2) 廃棄物排出量（一般廃棄物）の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
可燃ごみ数量 不燃ごみ数量 紙ごみ数量	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料・事務手続書類の簡素化を実行する ・使用済み用紙の裏紙利用の徹底 ・使用済み封筒の再利用の徹底 ・分別の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<p>全体的に実施されたので、今後も引き続き取り組んでいく。</p>

(3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
リサイクル率 リサイクル量 埋め立て量	<ul style="list-style-type: none"> ○ — — 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実にし、責任者に報告する ・産業廃棄物の適正処理を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<p>全体的に実施されたので、今後も引き続き取り組んでいく。</p>

(4) 総排水量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
水使用量の削減 (1.0%)	○	・節水シールの貼り付け ・節水活動の推進	○ ○	全体的に実施されたので、引き続き活動していく。

※水使用量の取組みに関しては半期で行います。

(5) グリーン購入

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
購入率 50%以上	○	・アスクルへの注文の統一化 ・注文時のリサイクル製品の有無の確認	○ ○	グリーン購入の意識を強く持ち、今後更に割合を増やしていきたい。

(6) 化学物質の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
農薬の適正管理	—	・工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに適正に管理する。	○	適正に管理できているので、引き続き適正に管理していく。

(7) 社会貢献活動への参加数

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
清掃活動・エコアップ活動	○	・月 1 回の清掃活動の実施	○	月の最終金曜日に実施するよう決めて、実行できているので、今後とも継続して活動していきたい。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

適用される法律規制等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、木屑、鉄屑）
建設リサイクル法	産業廃棄物（コンクリート・アスファルトがら、木屑、鉄屑）
オフロード法	バックホウ、ロードローラー
農薬取締法	殺虫剤、除草剤
騒音規制法	バックホウ
振動規制法	バックホウ

平成30年10月に上記の環境関連法規の平成29年度（平成29年7月～平成30年6月）における遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体としては、環境方針に基づき二酸化炭素排出量の削減目標が着実に達成されている。

今後も、二酸化炭素排出量の削減については、現状に満足せず積極的に取り組んでいきたい。

また、地域の清掃活動やグリーン購入、フロンターの設置、EOPAPP[®] 活動計画等はすぐ実行でき評価できるので今後とも取り組んでいきます。

事業所においては分かりやすい標示板等を設置し、仕組み作りが出来ているが、事務所移転を控え新たに設置する必要がある。

目標値に関しては、一部未達成の部門があるので見直し・再検討を行い、環境活動に取り組んでいきたい。

役割分担に関しては、全員で取り組んでいるのは評価できる。